

# 桜三二図鑑

桜とは、バラ科サクラ属に分類される樹木の総称で、北半球に広く自生し、日本産の野生種は約 9 種類、変種や多くの自然雑種なども知られています。また、桜には古くより日本人に愛され、受け継がれてきた様々な園芸品種があります。



舞姫は日本花の会・桜見本園で作出された農林水産登録品種です。

桜見本園には約 400 種類の桜が収集されています。

## 野生種

野生種とは自然の野山に生育している桜で、一定の変異の幅を持つ集団の名前なので、個体差があります。利用上は、その中から選抜した個体を接木増殖した接木苗と種子繁殖により苗木を育成した実生苗があります。接木苗は同じクローンですが、実生苗は個体差があり、場合によっては別の種類の桜と交配した雑種になっていることがあります。



**エドヒガン** 江戸彼岸  
開花期：3月

本州、四国、九州に分布。寿命の長い種類で、樹齢千年以上といわれる個体など名木が多い。



**ヤマザクラ** 山桜  
開花期：4月

本州、四国、九州に分布。染井吉野が普及する江戸時代末まではこの桜がお花見の主役だった。



**オオヤマザクラ** 大山桜  
開花期：4月

北海道から九州に分布。花色から紅山桜、北海道に多いことから蝦夷山桜とも呼ばれる。



**カスミザクラ** 霞桜  
開花期：4月

北海道、本州、四国に分布。ヤマザクラに似るが葉や花に毛がある点で区別できる。



**オオシマザクラ** 大島桜  
開花期：4月

伊豆諸島や伊豆半島原産だが、各地で野生化している。多くの園芸品種の誕生に関係している。



**ママザクラ** 豆桜  
開花期：3月

本州(関東地方以西)に分布。富士山周辺に多いことから富士桜とも呼ばれる。



**タカネザクラ** 高嶺桜  
開花期：4月

本州の亜高山帯と北海道に分布。暑さに弱いため、平地では栽培が難しい。別名 峰桜。



**チョウジザクラ** 丁字桜  
開花期：3月

本州(広島県以東)、熊本県に分布。花の形から名づけられた低木性の桜。



**ミヤマザクラ** 深山桜  
開花期：5月

北海道から九州に分布。日本産の桜の中では花が特異な形態を示している。



**カンヒザクラ** 寒緋桜  
開花期：3月

中国・台湾原産。古くから栽培され、多くの早咲き品種の片親となっている。



**シナミザクラ** 支那実桜  
開花期：3月

中国原産。この桜と他種が交配した早咲き品種も多い。幹から気根が出やすい特徴がある。



**ヒマラヤザクラ** ヒマラヤ桜  
開花期：10~12月

中国、ネパールなどに分布。近年、各地に植栽されているが、温暖地以外では成育が悪い。

## ❁ 早咲きの桜 (3月上旬頃)



**❶ 河津桜 (カワヅザクラ)**  
一重咲・大輪・紫紅色

伊豆半島の河津町で発見された品種。河津町では2月上旬から約1ヶ月間開花している。



**❷ 寒桜 (カンザクラ)**  
一重咲・中輪・淡紅色

寒緋桜と山桜の雑種と推定され、暖地では1月から開花する。熱海桜はこの品種の一系統とされる。



**❸ 椿寒桜 (ツバキカンザクラ)**  
一重咲・中輪・淡紅色

原木は愛媛県松山市・伊豫豆比古命神社にあり、支那寒桜と他種の雑種。切り花用にも適する。



**❹ 蜂須賀桜 (ハチスカジクラ)**  
一重咲・中輪・淡紅色

江戸時代には徳島城御殿にあり、樹齢200年以上。寒緋桜と山桜の雑種と推定される。

## ❁ 染井吉野より少し早く咲く桜 (3月中下旬頃)



**❺ 大寒桜 (オオカンザクラ)**  
一重咲・中輪・淡紅色

埼玉県川口市安行にあった桜で別名、安行寒桜。寒緋桜と大島桜の雑種と推定される。



**❻ オカメ**  
一重咲・小輪・紫紅色

英国の桜研究者・イングラムが寒緋桜と豆桜を交配して作出した品種で、狭い庭や鉢植えに適する。



**❼ 熊谷桜 (クマガイザクラ)**  
八重咲・小輪・淡紅色

鎌倉時代の武将、熊谷直実に因んで名づけられた近畿豆桜の八重咲き品種。



**❽ クルサル**  
一重咲・小輪・紫紅色

英国のイングラムが千島桜と寒緋桜を交配し作出。片親が大山桜として名づけられたが訂正された。



**❾ 越の彼岸 (コシノヒガン)**  
一重咲・中輪・淡紅色

江戸彼岸と近畿豆桜の雑種。複数の系統があるが当会で選抜・増殖した越村型が普及している。



**❿ 小彼岸 (コヒガン)**  
一重咲・小輪・淡紅色

江戸彼岸と豆桜の雑種と推定される。複数の系統があり切り花や小庭園にも向く品種。



**⓫ 修善寺寒桜 (シュゼンジカンザクラ)**  
一重咲・中輪・紫紅色

寒緋桜と大島桜の雑種と推定され、原木は静岡県伊豆市・修善寺にある。



**⓬ 大漁桜 (タイリョウザクラ)**  
一重咲・大輪・淡紅色

熱海市で角田春彦が作出。花に旗弁がでることと鯛の色に因んで名づけられた。



**⓭ 高岡越の彼岸 (タカオカコシノヒガン)※**  
一重咲・中輪・淡紅色

富山県高岡市・古城公園に古くに植えられた越の彼岸の一系統で、花弁が円形に近い。



**⓮ 高遠小彼岸 (タカトココヒガン)**  
一重咲・中輪・淡紅色

長野県伊那市・高遠城址公園に古くから植えられていた桜で越の彼岸の一系統と考えられる。



**⓯ 雛菊桜 (ヒナギクザクラ)**  
菊咲(段咲有)・小輪・淡紅色

原木は新潟県弥彦村・弥彦神社にある奥丁字桜の菊咲品種。別名、菊咲奥丁字桜。



**⓰ 紅枝垂 (ベニシダレ)**  
一重咲・小輪・濃紅色

江戸彼岸の枝垂れ性品種で花色が紅色の系統。個性により色の濃さや花形、開花期に差がある。

## ❁ 染井吉野と同じ頃に咲く桜 (4月上旬頃)



**⓱ 雲竜大島 (ウンリュウオオシマ)**  
一重八重咲・小輪・白色

尾川武雄が大島桜の実生苗の中から枝がらせん状に屈曲した個体を発見・命名した。



**⓲ 麻積の里舞台桜 (オノサトブタイザクラ)**  
一重八重咲・小輪・淡紅色

長野県飯田市座光寺にある枝垂桜で花弁が5~10枚の花が混在。森田和市が発見、命名された。



**⓳ 小松乙女 (コマツオトメ)**  
一重咲・中輪・淡紅色

東京都・上野恩賜公園の小松宮銅像近くに原木があり、染井吉野より少し早く開花、色も濃い。



**⓴ 白雪 (シラユキ)**  
一重咲・大輪・白色

明治時代に東京の江北村・荒川堤に植えられた中から発見され、開花時の様子から三好学が命名。

🌸 染井吉野と同じ頃に咲く桜 (4月上旬頃)



**21 神代曙 (ジンダイアケボノ)**  
一重咲・中輪・淡紅色  
都立神代植物公園で発見された桜で染井吉野と同期に開花、花色はやや濃く、花着きもよい。



**22 染井吉野 (ソメイヨシノ)**  
一重咲・中輪・淡紅色  
花見の名所地を代表する桜だが、伝染病の桜てんぐ巣病に罹るため、各地で問題となっている。



**23 薬王寺八重 (ヤクオウジャエ)**  
八重咲・中輪・白色  
福島県会津坂下町・杉村薬師堂にある桜で江戸彼岸と奥丁字桜の雑種と推定される。



**24 陽春 (ヨウシュン)**  
一重咲・中輪・淡紅色  
愛媛県西条市で高岡正明により発見された桜で、染井吉野に似るがやや花が大きく色も濃い。

🌸 染井吉野の少し後に咲く桜 (4月上中旬頃)



**25 伊豆最福寺枝垂 (イズサイフクジダレ)**  
八重咲・大輪・白色  
原木は静岡県伊豆市・最福寺にあり廣沢智純が命名した、大島桜が関係した枝垂れ性品種。



**26 雨情枝垂 (ウジョウシダレ)**  
八重咲・中輪・淡紅色  
栃木県宇都宮市・野口雨情旧宅に植えられていた枝垂桜の中から発見され、命名された。



**27 永源寺 (エイゲンジ)**  
八重咲・大輪・白色  
滋賀県東近江市・永源寺にあった桜で、花弁数は少ないが花径6cm近い大きな花を咲かせる。



**28 奥州里桜 (オウシュウサトザクラ)**  
半八重咲・大輪・紫紅色  
大山桜と里桜の一種が交雑した品種といわれ、岩手県盛岡市周辺でみかけることが多い。



**29 思川 (オモイガワ)**  
半八重咲・中輪・淡紅色  
久保田秀夫が栃木県小山市にあった桜から実生苗を育成し、市内を流れる川に因んで命名した。



**30 苔清水 (コケシミズ)**  
一重咲・中輪・紅色  
江北村・荒川堤に植えられていた品種。花は独特の色調で、花弁先端に細かな切れ込みがある。



**31 御殿場桜 (ゴテンバザクラ)**  
一重咲・中輪・淡紅色  
豆桜と他種の雑種と推定される品種で、挿し木増殖が容易で花着きがよいので鉢植えに適する。



**32 静句 (シズカニオイ)**  
一重咲・中輪・淡紅色  
静岡県三島市・国立遺伝学研究所で山桜の実生から選抜された品種。花の芳香から命名された。



**33 枝垂山桜 (シダレヤマザクラ)**  
一重咲・中輪・白色  
山桜系の品種で、枝垂れ性品種の中では枝が太く、横に広がる。別名、仙台枝垂。



**34 仙台屋 (センダイヤ)**  
一重咲・中輪・紅色  
高知県高知市・仙台屋という店にあったことから牧野富太郎が名づけた、山桜系の品種。



**35 太白 (タイハク)**  
一重咲・大輪・白色  
英国の桜研究者・イングラムが日本から導入、栽培していた桜で、日本に里帰りして命名された。



**36 高砂 (タカサゴ)**  
八重咲・大輪・淡紅色  
丁字桜と里桜の一種との雑種と推定され、葉や花柄、がくなどに毛が密生する早咲きの八重桜。



**37 天賜香 (テンシコウ)**  
八重咲・中輪・白色  
兵庫県芦屋市で発見された山桜系の桜で花の香りに因み、極楽地太一により命名された。



**38 華加賀美 (ハナカガミ)**  
半八重咲・大輪・紅色  
当会の桜見本園で奥州里桜の実生から選抜された品種で、美しい加賀の國に因んで名づけられた。



**39 火打谷菊桜 (ヒウチダニクザクラ)**  
菊咲 (段咲有)・大輪・淡紅色  
原木は石川県志賀町・泉緑化センターにある。近畿豆桜が関係した雑種と推定される菊咲品種。



**40 紅豊 (ベニユタカ)**  
八重咲・大輪・濃紅色  
浅利政俊が松前早咲に龍雲院紅八重を交配して作出した品種で紅色豊かな重弁の桜として命名。



41 舞姫 種苗登録 No.20923 (マイヒメ)

八重咲・中輪・淡紅色

当会の桜見本園で八重紅枝垂の実生から作出された桜で、樹全体が花で覆われ美しい八重桜。



42 八重紅大島 (ヤエベニオオシマ)

八重咲・大輪・淡紅色

伊豆大島で発見され、尾川武雄が命名した桜で、大島桜の品種とされるが他種との雑種という説もある。



43 八重紅枝垂 (ヤエベニシダレ)

八重咲・小輪・紅色

江戸彼岸の枝垂れ性の品種。同名でも花色の濃淡や開花の早晚などに異なる系統がみられる。



44 八重紅彼岸 (ヤエベニヒガン)

八重咲・中輪・淡紅色

小彼岸の八重咲き品種。枝が横に広がらないことや大木にならないので小庭園にも適する。

## 🌸 やや遅咲きの桜 (4月中旬頃)



45 天の川 (アマノガワ)

八重咲・中輪・淡紅色

枝が直立し円柱状の樹形になり、狭い場所にも適する品種。花は上向きに開花し、芳香がある。



46 市原虎の尾 (イチハラトラノオ)

八重咲・中輪・白色

京都市左京区市原にあった山桜系の品種で、花の着き方が虎の尾状になることから名づけられた。



47 一葉 (イチヨウ)

八重咲・大輪・淡紅色

葉化した1本の雌しべが名前の由来。樹勢強健で大木になり、八重桜の中では寿命も長い。



48 早晩山 (イツカヤマ)

八重咲・大輪・白色

江北村・荒川堤に植えられていた品種で、開花終期の花弁中央に紅紫色の筋が入る特徴がある。



49 妹背 (イモセ)

八重咲・大輪・紅色

京都市・平野神社にあった品種で、一花に二つの果実が実ることを妹背に見立て名づけられた。



50 鬱金 (ウコン)

八重咲・大輪・黄綠色

江戸時代から知られ、植物のウコンで染めた色に似ていることから名づけられたといわれる。



51 薄紅深山桜 (ウスベニヤマザクラ)

一重咲・中輪・淡紅色

北海道・松前町の松前公園にあった深山桜の実生成種、他種との雑種と推定される。



52 江戸 (エド)

八重咲・大輪・淡紅色

八重紅虎の尾、糸括、手毬、東錦と極めて類似。楊貴妃とは萼片の形などで区別される。



53 大沢桜 (オオサワザクラ)

半八重咲・大輪・淡紅色

京都市嵯峨・大沢池にあった原木から佐野藤右衛門により増殖された。時に副がく片がある。



54 御座の間匂 (ゴザノマニオイ)

半八重咲・大輪・淡紅色

この名で栽培されている桜が北海道松前町にあり、船津金松によりこの品種と推定された。



55 朱雀 (シュジャク)

八重咲・大輪・淡紅色

別名・スザク。京都の朱雀にあったのが名前の由来という。小花柄が細く長い点が特徴のひとつ。



56 白妙 (シロタエ)

八重咲・大輪・白色

江北村・荒川堤に植えられていた品種で代表的な白花の八重桜。蕾は淡紅色を帯びる。



57 仙台吉野 (センダイヨシノ)

八重咲・中輪・淡紅色

坂庭清一郎が八重紅枝垂を母樹に染井吉野を交配して作出した。江戸彼岸八重は異名同品種。



58 千里香 (センリコウ)

一重八重咲・大輪・白色

明治時代に東京の江北村・荒川堤に植えられた品種で、名前は花に芳香があることに因む。



59 手弱女 (タオヤメ)

八重咲・中輪・淡紅色

原木は古くから様々な品種が植えられた京都市・平野神社境内にあった。がく筒にしわが多い。



60 花笠 (ハナガサ)

八重咲・大輪・淡紅色

浅利政俊が福祿寿の実生苗から育成し、大輪咲の花の形が花笠に似ているところから命名された。



**61 紅笠 (ベニガサ)**  
八重咲・大輪・淡紅色

北海道松前町で浅利政俊により、糸括と里桜の一種の自然交雑から誕生した。



**62 御車返し (ミクルマガエシ)**  
一重八重咲・大輪・淡紅色

江北村・荒川堤に植えられていた品種で花弁数が5~8枚の花が混在することが名前の由来。



**63 八重紫桜 (ヤエムラサキザクラ)**  
八重咲・大輪・紫紅色

三好学が紫桜の実生から選抜した品種。同じ名でも花弁数が異なる系統があり、今後、整理が必要。



**64 横輪桜 (ヨコワザクラ)**  
半八重咲・大輪・淡紅色

原木は三重県伊勢市横輪町に江戸時代からあり、町内各所に植えられている。花に芳香がある。

## 遅咲きの桜 (4月中下旬頃)



**65 大村桜 (オオムラザクラ)**  
菊咲 (段咲有)・大輪・淡紅色

長崎県大村市・大村神社で外山三郎が発見、命名した品種で、大村市の市の花に指定されている。



**66 関山 (カンザン)**  
八重咲・大輪・濃紅色

八重桜の代表的な品種で公園や街路などに広く植えられている。海外でも人気が高い品種。



**67 菊枝垂 (キクシダレ)**  
菊咲 (段咲無)・中輪・紅色

霞桜が関係したと推定される品種で、現在、菊咲の枝垂れ性品種は他に知られていない。



**68 御衣黄 (ギョイコウ)**  
八重咲・中輪・黄緑に綠色

開花がやや遅く、黄緑色に緑の筋が入る点が鬱金と異なるとされるが鬱金でも似た系統がある。



**69 御衣黄・小輪系 (ギョイコウ・ショウリンケイ)**  
八重咲・小輪・綠色

枝変りと推定される系統で、本来の御衣黄とは異なり、新錦と呼ばれる品種と類似している。



**70 紅華 (コウカ)**  
八重咲・大輪・紅色

浅利政俊が糸括と里桜の一種の交配により育成した品種で花冠の形状からこの名が付けられた。



**71 松月 (ショウゲツ)**  
八重咲・大輪・淡紅色

蕾の外側は紅色、開花した花は白色となるため、樹全体が濃淡で彩られ八重桜では最も美しい。



**72 須磨浦普賢象 (スマウラフゲンゾウ)**  
八重咲・大輪・黄緑色

神戸市・須磨浦公園で発見され田中秀明が命名した普賢象の枝変り品種。時に淡紅色の花が咲く。



**73 駿河台匂 (スルガダイニオイ)**  
一重八重咲・大輪・白色

江戸時代に駿河台 (現東京都千代田区) の庭園にあったといわれ、花の芳香が特によい品種。



**74 園里黄桜 (ソノサトキザクラ)**  
八重咲・中輪・黄緑に綠色

長野県須坂市で発見され羽生田郁雄が命名した普賢象の枝変り品種。時に園里緑龍の花が咲く。



**75 園里緑龍 (ソノサトリョクリュウ)**  
八重咲・小輪・綠色

園里黄桜の枝変り品種で羽生田郁雄が命名した。時に園里黄桜の花が咲くことがある。



**76 泰山府君 (タイザンフクン)**  
八重咲・中輪・淡紅色

泰山府君は中国の花の神で平安時代、桜を愛好した藤原茂範が花の寿命が延びる様祈ったという。



**77 東京桜 (トウキョウザクラ)**  
半八重咲・中輪・淡紅色

静岡県三島市・国立遺伝学研究所にあるが余り知られていない品種で樹形が帚状になる。



**78 梅護寺数珠掛桜 (バイゴジユスカケザクラ)**  
菊咲 (段咲有)・大輪・紅色

原木は新潟県阿賀野市・梅護寺にあり、親鸞上人の伝説に因んで名付けられた山桜系の品種。



**79 福祿寿 (フクロクジュ)**  
八重咲・大輪・淡紅色

江戸時代から知られる品種で学名の Contorta は、ねじれたを意味し花弁の形状からつけられた。



**80 普賢象 (フゲンゾウ)**  
八重咲・大輪・淡紅色

葉化した二本の雌しべの形状を普賢菩薩の乗る白い象に関連付けて名づけられたといわれる古い品種。



81 紅時雨 (ベニシゲル)

八重咲・大輪・濃紅色

浅利政俊が東錦の実生苗から育成し、紅色の花が垂下して開花するところから命名された。



82 八重深山桜 (ヤエミヤマザクラ)

八重咲・中輪・白色

1964年に浅利政俊により深山桜と御座の間匂の交配により作出された、珍しい交配種。



83 楊貴妃 (ヨウキヒ)

八重咲・大輪・淡紅色

江戸や糸括、八重紅虎の尾など類似品種と混同されていたが、がく片の形などで区別できる。



84 蘭蘭 (ランラン)

八重咲・大輪・白色

浅利政俊が白蘭と雨宿の交配で育成した品種。上野動物園にいたパンダ・蘭蘭に因み命名された。

## 極く遅咲きの桜 (4月下旬頃)



85 菊桜 (キクザクラ)

菊咲 (段咲有)・大輪・紅色

岡山市・旧制第六高等学校にあった桜。六高菊桜と呼ばれたこともあった大島桜の関係した品種。



86 麒麟 (麒麟)

八重咲・大輪・濃紅色

関山に類似とされるが、麒麟はがく片や葉縁に著しい鋸歯があることで明確に区別できる。



87 兼六園菊桜 (ケンロクエンキクザクラ)

菊咲 (段咲有)・大輪・淡紅色

原木は金沢市・兼六園にあった桜で、慶応年間に孝明天皇より前田家に下賜されたといわれる。



88 極楽寺桜 (ゴクラクジザクラ)

菊咲 (段咲有)・中輪・淡紅色

兵庫県芦屋市で極楽地太一が発見・命名した霞桜の菊咲品種。奈良の八重桜に比べ花弁数が多い。



89 静桜 (シズカザクラ)

一重八重咲・中輪・淡紅色

原木は栃木県宇都宮市野沢町にあり、静御前にまつわる伝説が残されている霞桜系の品種。



90 名島桜 (ナジマザクラ)

菊咲 (段咲有)・大輪・紅色

1758年発行の桜図鑑「怡顔斎桜品」に掲載されているが、名前の由来は不明と書かれている。



91 奈良の八重桜 (ナラノヤエザクラ)

八重咲・中輪・淡紅色

奈良市・知足院の裏山で発見された霞桜の八重咲品種。奈良県、奈良市の花に選定されている。



92 鶉桜 (ヒヨドリザクラ)

菊咲 (段咲有)・大輪・濃紅色

絶滅したと考えられていたが、石川県七尾市・法京氏邸で再発見された花弁数が非常に多い品種。

## 秋と春に咲く桜 (9~11月と4月頃)



93 アーコレード

半八重咲・大輪・淡紅色

英国育成の春咲品種だが、日本の気候下では春と秋、固定して開花することから二季性とした。



94 越の福かさね (コシノフカサネ)※

一重八重咲・小輪・白色

富山県入善町と朝日町で発見された。二季咲性で一重咲と半八重咲が混ざって咲く特徴がある。



95 越の冬桜 (コシノフユザクラ)※

一重咲・小輪・白色

富山県上市町と黒部市で発見された二季咲性の品種。花着きがよく、開花期間が長い。



96 子福桜 (コブクザクラ)

八重咲・中輪・白色

支那実桜が関係した品種。誤って十月桜とされることが多いが花色と花弁数で明確に区別できる。



97 四季桜 (シキザクラ)

一重咲・小輪・淡紅色

小彼岸の一重咲で二季咲の品種。同じ名前でも花色や大きさの異なる系統が知られている。



98 十月桜 (ジュウガツザクラ)

半八重咲・中輪・淡紅色

江戸彼岸と豆桜の雑種とされる小彼岸の二季咲品種。同じ名前でも複数の系統がある。



99 冬桜 (フユザクラ)

一重咲・中輪・白色

別名、小葉桜。群馬県の旧三波川村に名所があることから三波川冬桜と呼ばれることもある。



100 穂咲彼岸八重桜 (ホザキヒガンヤエザクラ)

八重咲・中輪・淡紅色

新潟県五泉市・村松公園に原木がある小彼岸系の品種。八重咲の花が穂状に着く特徴がある。

## 園芸品種

日本人は、当初は野山に自生する桜を、やがては庭園などに植えて楽しみ、時代とともに園芸品種が誕生してきました。桜の園芸品種とは、何かしらの価値を認めた特定の個体を他の桜と区別するために、人が固有の名前をつけたもので、その内容は花の美しいもの、香りのよいもの、珍しいもの、伝説などの由来に因むものなど様々です。これらの園芸品種は、起源は不明ですが古くから栽培されてきたもの、野生種や野生種間の雑種から観賞性の高い個体を選抜したもの、人為的な交配によって作出されたものなど多彩で現在も新しい園芸品種が誕生しています。



自生のヤマザクラ



多彩な園芸品種が植えられた結城農場・桜見本園

## 園芸品種の名前

園芸品種の名前は本来、染井吉野のように他と区別される特定の形質を持つ個体につけられた名前ですが、桜では山高神代ザクラのように特定の由来をもつ個体につけられた個体名や紅枝垂のように同じ名前でも特性の異なる個体が含まれる集団名があり、今後、整理や名前の表記方法の統一が必要です。



染井吉野（品種名）

江戸時代末期に売り出され、各地に広がったが、全て同じ形質をもつクローン。



山高神代ザクラ（個体名）

樹齢2千年といわれる江戸彼岸の一個体につけられた名前。



紅枝垂（集団名）

紅色花の枝垂桜。同じ名前でも開花期や花形、花色等が異なる個体がある。

花形、花の大きさは次のように区分しています。  
なお花弁数や花径は樹齢や環境による変化がみられることがあります。



一重咲

花弁数は5枚



半八重咲

花弁数は約6~15枚



一重・八重咲

花弁数が5枚と約6~10枚の花が一樹中に混在する



八重咲

花弁数は約20~70枚



菊咲・段咲なし

花弁数が100枚以上で段咲しない



菊咲・段咲あり

花弁数が100枚以上で段咲する。段咲とは写真のように花の中から花が現れる咲き方

花の大きさは小輪（約2.5cm以下）、中輪（約2.5~3.5cm）、大輪（約3.5~6cm）、極大輪（約6cm以上）

掲載品種一覧 (アイウエオ順)

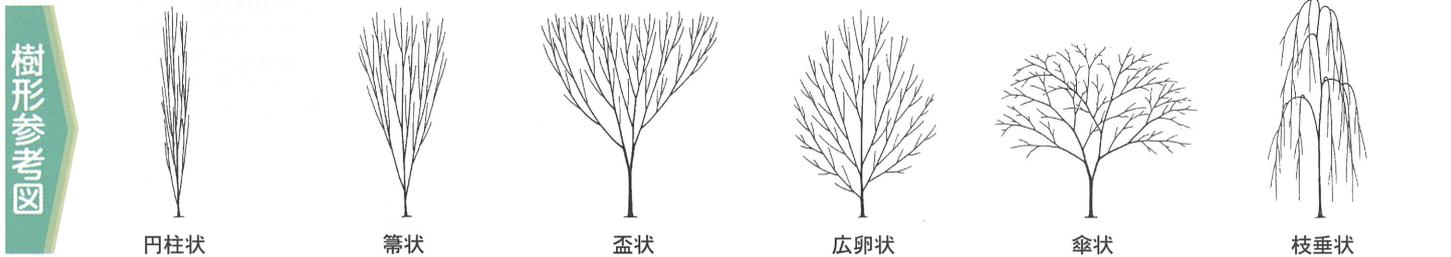
No. は掲載順

品種名	樹高	樹形	No.
アーコレード	亜高木	傘状	93
アマノガワ	亜高木	円柱状	45
イズサイフクジシダレ	亜高木	枝垂状	25
イチハラトラノオ	亜高木	盃状	46
イチヨウ	高木	広卵状	47
イツカヤマ	高木	盃状	48
イモセ	亜高木	盃状	49
ウコン	高木	盃状	50
ウジョウシダレ	亜高木	枝垂状	26
ウスベニミヤマザクラ	高木	広卵状	51
ウンリュウオオシマ	亜高木	盃状	17
エイゲンジ	亜高木	傘状	27
エド	亜高木	盃状	52
オウシュウサトザクラ	亜高木	広卵状	28
オオカンザクラ	高木	傘状	5
オオサワザクラ	高木	盃状	53
オオムラザクラ	高木	盃状	65
オカメ	低木	広卵状	6
オミノサトブタイザクラ	高木	枝垂状	18
オモイガワ	亜高木	傘状	29
カワヅザクラ	亜高木	傘状	1
カンザクラ	亜高木	盃状	2
カンザン	高木	盃状	66
ククザクラ	亜高木	盃状	85
ククシダレ	亜高木	枝垂状	67
ギョイコウ	高木	盃状	68
ギョイコウ・ショウリンケイ	高木	盃状	69
キリン	亜高木	盃状	86
クマガイザクラ	低木	盃状	7
クルサル	低木	広卵状	8
ケンロクエンククザクラ	亜高木	広卵状	87
コウカ	亜高木	盃状	70
ゴクラクジザクラ	高木	広卵状	88
コケシミズ	亜高木	盃状	30

品種名	樹高	樹形	No.
ゴザノマニオイ	亜高木	盃状	54
コシノヒガン	高木	広卵状	9
コシノフカサネ	亜高木	傘状	94
コシノフユザクラ	亜高木	傘状	95
ゴテンバザクラ	低木	広卵状	31
コヒガン	亜高木	盃状	10
コブクザクラ	亜高木	広卵状	96
コマツオトメ	高木	傘状	19
シキザクラ	亜高木	傘状	97
シズカザクラ	亜高木	盃状	89
シズカニオイ	亜高木	盃状	32
シダレヤマザクラ	亜高木	枝垂状	33
ジュウガツザクラ	亜高木	傘状	98
シュジャク	亜高木	盃状	55
シュゼンジカンザクラ	高木	広卵状	11
ショウゲツ	亜高木	傘状	71
シラユキ	亜高木	広卵状	20
シロタエ	高木	盃状	56
ジンダイアケボノ	高木	傘状	21
スマウラフゲンゾウ	高木	傘状	72
スルガダイニオイ	亜高木	傘状	73
センダイヤ	高木	広卵状	34
センダイヨシノ	高木	傘状	57
センリコウ	高木	広卵状	58
ソノサトキザクラ	高木	傘状	74
ソノサトリョクリュウ	高木	傘状	75
ソメイヨシノ	高木	傘状	22
タイザンフクン	亜高木	箒状	76
タイハク	高木	盃状	35
タイリョウザクラ	高木	傘状	12
タオヤメ	亜高木	広卵状	59
タカオカコシノヒガン	高木	傘状	13
タカサゴ	亜高木	盃状	36
タカトオコヒガン	高木	傘状	14

品種名	樹高	樹形	No.
ツバキカンザクラ	高木	傘状	3
テンシコウ	高木	広卵状	37
トウキョウザクラ	亜高木	箒状	77
ナジマザクラ	亜高木	広卵状	90
ナラノヤエザクラ	高木	広卵状	91
バイゴジジュズカケザクラ	高木	広卵状	78
ハチスカザクラ	亜高木	盃状	4
ハナカガミ	高木	盃状	38
ハナガサ	高木	傘状	60
ヒウチダニククザクラ	亜高木	広卵状	39
ヒナギクザクラ	低木	広卵状	15
ヒヨドリザクラ	亜高木	広卵状	92
フクロクジュ	亜高木	広卵状	79
フゲンゾウ	高木	傘状	80
フユザクラ	亜高木	広卵状	99
ベニガサ	高木	傘状	61
ベニシグレ	高木	盃状	81
ベニシダレ	高木	枝垂状	16
ベニユタカ	亜高木	広卵状	40
ホザキヒガンヤエザクラ	亜高木	傘状	100
マイヒメ	高木	盃状	41
ミクルマゲシ	亜高木	盃状	62
ヤエベニオオシマ	高木	広卵状	42
ヤエベニシダレ	高木	枝垂状	43
ヤエベニヒガン	亜高木	盃状	44
ヤエミヤマザクラ	高木	盃状	82
ヤエムラサキザクラ	亜高木	広卵状	63
ヤクオウジャエ	亜高木	盃状	23
ヨウキヒ	亜高木	盃状	83
ヨウシュン	高木	傘状	24
ヨコワザクラ	高木	盃状	64
ランラン	高木	盃状	84

樹高は低木性 2~3m、亜高木性 3~8m、高木 8m 以上です。



桜の品種、植栽、維持管理などに関するお問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。

公益財団法人日本花の会 HP: <https://www.hananokai.or.jp/>

事務局

〒105-8316 東京都港区海岸一丁目2-20 汐留ビルディング9階  
TEL: 03-6849-9821 FAX: 03-6849-9822

結城農場・桜見本園

〒307-0044 茨城県結城市田間 2217  
TEL: 0296-35-0235 FAX: 0296-35-3385



定価 300円 (税込)

この図鑑(写真含む)の著作権は公益財団法人日本花の会に帰属します。無断転載を禁止します。